

平成30年第2回定例会12月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

12月5日(水)

(1)	梅田	宏希	議員	(公明党)P	1
(2)	永井	俊作	〃	(未来市民)P	3
(3)	宮坂	祐太	〃	(民主連合)P	6
(4)	山崎	雄史	〃	(真誠会)P	7
(5)	松井	久美子	〃	(公明党)P	8
(6)	中西	礼皇	〃	(未来市民)P	10

12月6日(木)

(7)	尾仲	利治	〃	(民主連合)P	11
(8)	林	健太	〃	(真誠会)P	12
(9)	尾倉	あき子	〃	(公明党)P	13
(10)	丸谷	聡子	〃	(未来市民)P	14
(11)	辰巳	浩司	〃	(真誠会)P	16
(12)	佐々木	敏	〃	(公明党)P	17

12月7日(金)

(13)	国出	拓志	〃	(公明党)P	18
(14)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	19
(15)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)P	21
(16)	遠藤	恒司	〃	(自由民主党)P	22
(17)	北川	貴則	〃	(無所属)P	23
(18)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	25

※ 順位については予定です。

平成30年第2回定例会12月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 風疹対策について</p>		
	<p>(1) 風疹患者の急増と本市の認識及び対応について (要旨) 今年の風疹患者数は2,000人を超え、今後も感染拡大が懸念されている。特に妊娠初期に感染すると胎児に影響が及ぶ可能性があり、予防接種や抗体検査を実施し、抗体保有者をふやす取り組みが必要である。本市の認識と取り組みをお答えください。</p> <p>(2) ワクチン接種と抗体検査の費用助成制度について (要旨) 県下8市6町で風疹ワクチン接種費用の公費助成があるが、本市では助成がない。本年度、国は第2次補正予算において、風疹対策の予防接種などへの助成拡充を検討しているが、こどもを核とするまちづくりを掲げる本市としては、早急に助成制度を立ち上げるべきではないか。お考えをお答えください。</p>		
	<p>2 (仮称)「おくやみコーナー」窓口設置について</p>		
<p>(1) 葬儀後の市役所での手続きの現状と課題について (要旨) 本市では、昨年2,764人の市民が亡くなられ、ご遺族が葬儀後に市役所等での手続きを数カ所、多い場合は30以上の届け出を10カ所以上の窓口で行っている。本市の業務の現状と課題についてお答えください。</p> <p>(2) (仮称)「おくやみコーナー」窓口設置について (要旨) 本市以外から来庁されるご遺族も多く、また、限られた時間の中での手続きを余儀なくされている。簡単に分かりやすく短時間に対応するため、(仮称)「おくやみコーナー」という窓口を設置することで行政サービスの向上を図るべきと思うが、お考えをお答えください。</p>			
<p>3 動物と共生するまちづくりについて</p>			
<p>(1) 譲渡会の休日開催について (要旨) あかし動物センター開設から現在までの、犬・猫の受け入れ、譲渡、致死処分等の状況はどうか。また、譲渡率を上げるため、譲渡会の休日開催についてどのように取り組むのか、お答えください。</p> <p>(2) あかし動物センター運営協議会の設置について (要旨) あかし動物センター開設と同時に、市内関係団体代表を構成員とする運営協議会を設置し、動物と共生するまちづくりを広く市民と協働で進めることが求められている。いつ、どのような構成で設置するのか、お答えください。</p>			

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(3) (仮称)動物と共生するまちづくり条例制定について (要旨)中核市となり、あかし動物センターも業務をスタートしたが、本市の動物愛護の全体像を示す条例は制定されていない。これでは羅針盤のない船のような場当たりの運営となることが懸念される。早期に条例検討委員会を立ち上げ、あかし動物センターを核とした本市の(仮称)動物と共生するまちづくり条例を制定すべきと考えるが、お考えをお答えください。</p>		
	<p>4 教育行政の充実について</p> <p>(1) 準要保護児童生徒援助の充実について (要旨)要保護児童生徒に対する文部科学省の補助金の来年度予算要望額が大幅に引き上げられ、その中には卒業アルバム代等も含まれている。これに準じて、市単独で行っている準要保護児童生徒への援助についても拡充することが必要ではないか。お考えをお答えください。</p> <p>(2) 統合型校務支援システムの整備について (要旨)国は教員が担うべき業務に専念できる環境確保のために、統合型校務支援システムの整備が重点課題であるとして、予算措置も行っている。本市では第1次、第2次検討委員会を設置し、その必要性を結論づけておきながら、未だに導入に至っていない。児童生徒と教員が向き合う時間確保のため、早急にこのシステムを整備すべきではないか。教育委員会のお考えをお答えください。</p>		
<p>5 生産緑地地区制度の導入について</p> <p>(1) 本市の生産緑地地区制度検討の経緯と見解について (要旨)平成23年度から27年度に都市農業振興対策会議を開催し、生産緑地地区制度を議題とした協議も行ったが、その後、同会議は休会状態と聞く。これまでの経緯と本市の見解についてお答えください。</p> <p>(2) 生産緑地法改正と本市の取り組みについて (要旨)平成29年5月に生産緑地法が改正され、生産緑地の面積要件、生産緑地内の施設の制限等が緩和された。この際、本市の生産緑地地区制度も含めた都市農業振興対策のあり方について関係者との協議を再開すべきではないか、見解をお聞かせください。</p>			

発言順位	2	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>1 持続可能な明石市政と正規職員1,800人体制について</p> <p>(1) 正規職員1,800人体制で明石市政は持続可能なのか。 (要旨) 中核市に移行し、保健所等が新設されたにもかかわらず、職員数は減少している。週30時間勤務の任期付短時間勤務職員の550人体制に加えて、民間委託を拡大しているが、今後の少子高齢社会に対応できるのか。</p> <p>(2) 市役所組織と局部長職のあり方について (要旨) 5つの部が統合された市民生活局は組織として巨大化している。部が廃止された組織で業務が停滞しないか、部長は何人残るのかなどの疑問や不安がある中で市役所組織は機能するのか。</p> <p>(3) 職員のモチベーションと健康管理について (要旨) 中核市移行により業務量は増加したが、人員は削減されており、外部の人材を任期付職員として管理職に登用している。このような状況で職員のモチベーション維持と健康管理ができるのか、認識を聞きたい。</p> <p>(4) 窓口職場のあり方について (要旨) 窓口職場は市民と直接接する部署であるが、職員の半数が任期付職員である上、人員が削減され、職場内研修をする余裕もないと聞いている。市民サービス向上のため、市民と直接接する窓口職場に適切な人員配置をすることや研修を行うことが必要なのではないのか。</p> <p>(5) 市民税の課税及び収納体制の維持・強化について (要旨) 貧困と格差が拡大し、厳しい情勢の中、徴収率をアップさせている税務室の頑張りは高く評価する。しかし、事業所税も新たに徴収することとなり、業務量がふえているにもかかわらず、人員が削減されている。適切な人員配置が必要ではないか。</p> <p>2 障がい者雇用とユニバーサル社会について</p> <p>(1) 障がい者雇用とユニバーサル社会について (要旨) 明石市はユニバーサル社会の実現に向けた取り組みを行い、共生社会を目指している。障がい者雇用とユニバーサル社会実現についての認識を聞きたい。</p> <p>(2) 本市の障がい者雇用の状況について (要旨) 障がい者の法定雇用率の達成に向け、不足していた7名の採用は順調に進んでいるのか。現在の明石市の障がい者の雇用状況を聞きたい。</p>		

発言順位	2	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(3) 障がいのある市職員の就労サポート体制について (要旨) 障がいのある市職員が働き続けるためには、市職員の意識改革とサポート体制を確立する必要がある。対策を聞きたい。</p> <p>(4) 障がいのある市職員の継続雇用について (要旨) 障がいのある市職員の雇用期間が3年や5年では、業務や人間関係に慣れた段階で雇止めとなる。これでは、ユニバーサル社会とは言えないのではないか。継続雇用についての認識を聞きたい。</p>		
	<p>3 安全な水の確保と水道事業の民営化について</p> <p>(1) 安全な水の確保について (要旨) 以前、明石川の水の安全性や浄水場の建てかえ費用等の問題から阪神水道企業団の水道水を購入する構想についての説明を受けたが、その後はどうなったのか。また、将来の明石の水の確保について聞きたい。</p> <p>(2) 人員の確保並びに組織体制について (要旨) 阪神淡路大震災時には約150人体制であったが、今では約50人体制となっており、職員の約8割が40歳代と50歳代で、土木職が著しく不足していると聞いている。この体制で東南海・南海地震や集中豪雨対策は十分なのかを聞きたい。</p> <p>(3) 民営化についての認識について (要旨) 海外で進められた水道事業の民営化は、失敗例が多く、買い戻しや契約解除も行われている。我が国でも民営化により外国企業が水道事業に参入し、同様の問題が発生することを危惧するが、認識を聞きたい。</p>		
<p>4 市民病院の建てかえについて</p> <p>(1) 市民病院の建てかえについて (要旨) 築後27年が経過し、老朽化が進み、手狭で、建物や空調施設等の修繕が多い。地域包括ケア病棟は満室のときもある。災害対応病院を目指し、来年度から4年間の第3期中期目標として高度な総合的医療の推進を掲げているのであれば、早急に建てかえるべきではないか。</p> <p>(2) 車椅子利用と狭いスペースについて (要旨) エレベーターが狭いため、車椅子利用者は方向転換ができず、後ろ向きで降車している。4人部屋では、車椅子を折り畳む必要がある。また、車椅子対応のトイレも少ない。これらのことについて、認識を聞きたい。</p>			

発言順位	2	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(3) 救急治療室並びに待合スペースについて (要旨) 救急治療室が狭いだけでなく、治療室の前の通路が待合スペースになっており、家族が症状の説明を聞くスペースも不十分である。このことについての認識を聞きたい。</p> <p>(4) 再生エネルギーを活用したエネルギーの分散化並びに省エネについて (要旨) 災害発生時には電気等のエネルギー供給が途絶え、医療がストップする事態が生じる可能性がある。太陽光発電や太陽熱利用、ガスの排熱を利用するコージェネレーションシステムなどによる代替エネルギーの確保並びに省エネ対策について認識を聞きたい。</p>		

発言順位	3	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p>1 上下水道の今後のあり方について</p> <p>(1) 下水道事業の今後のあり方について (要旨) 私は本年6月議会において下水道事業に係る経営戦略の策定について質問し、平成30年度中を視野に長期収支見通し(いわゆる「経営戦略」)の検討を進めていく、との答弁を得ました。 そこで、収支見通しを立てる前提となる今後の下水道施設に係る改築更新等の投資と下水道使用料等の財源、さらには公民連携並びに広域連携に関する考え方など、経営の視点を踏まえた下水道事業の今後のあり方について、市の考えをお伺いいたします。</p> <p>(2) 水道事業の今後のあり方について (要旨) この間、国会において議論されてきた水道法の改正案は、広域連携の推進とコンセッション方式の導入に係る手続きを簡素化することが大きな柱になっています。 広域連携については、「兵庫県水道事業のあり方に関する報告書」を踏まえたブロックごとの検討が始まっており、積極的な対応を期待するところです。 一方、水道料金の値上げ等のリスクを伴うコンセッション方式の導入については、慎重に対応すべきと考えます。 そこで、これら2つの論点を含む、水道事業の今後のあり方について、市の考えをお伺いいたします。</p> <p>(3) 地下水の今後のあり方について (要旨) 国は先ごろ、持続可能な地下水の保全と利用の推進を掲げ、地下水の実態把握とその分析並びに可視化、質・量両面での保全、採取等に関して地域で合意形成を図るとともに、種々の取り組みを実施する地下水マネジメントの導入を推奨しています。 本市においては、条例等により地下水の取水基準を定めるとともに、東播地域地下水利用対策協議会に参画する等の取り組みを既に行っていますが、地下水の保全と利用について今後の方策をお伺いいたします。</p> <p>(4) 上下水道の組織統合について (要旨) 上下水道の組織統合については、平成25年6月議会で取り上げ、その後、他の議員も本会議等でたびたび取り上げています。 平成28年度下水道事業の公営企業会計への移行から一定の期間も過ぎ、改めてメリット・デメリットを精査した上で、現段階における市の考えをお伺いいたします。</p>		

発言順位	4	議員名	山崎 雄史(真誠会)
発言事項	1 泉市政のこれまでの成果と今後の課題について		
	<p>(1) 2期8年の成果と今後の課題について (要旨) 泉市政では積極的に施策を展開し、こどもを核としたまちづくりを推進することによって、全国的に人口減少が進む中、人口増を実現しており、税収の増加、まちなぎわいの向上、地域経済の活性化など、非常に好調な状況である。このような中、これまでの2期8年の市政運営の成果について、市長はどのように自己評価をしているのか、お伺いしたい。 また、今後の課題についてどのように捉え、どのようなまちづくりを進めようとしているのか。</p>		
発言事項	2 子ども施策の今後の課題と対応について		
	<p>(1) 子どもの特性に応じた保育所等への入所について (要旨) 現在、本市は来年4月の保育所待機児童解消を目指しているが、受け入れ枠を確保するだけでなく、一人一人の特性に応じた適切な保育を保障すべきである。 しかしながら、発達や言語の面で配慮が必要であるにもかかわらず、必要な配慮や支援を受けることができない保育所があるように聞いている。 このような入所後のミスマッチを防ぐために、入所申込書提出時の手続きを改善する必要があるのではないかと。</p> <p>(2) 児童相談所の質の確保について (要旨) 平成31年4月には児童相談所を開設し、市による一貫した子ども支援体制が整うことになるが、子どものニーズや家庭の状況をしっかりと捉えて対応する力を備えることが必要である。 全国的にも、児童相談所が関与しながら虐待による痛ましい事案が後を絶たない中、本市の児童相談所が真に子どもの命を守る最後の砦(とりで)となるためには、そこに携わる職員の知識や技術を磨くことが必要と考える。子ども支援の今後の取り組みについて市長の決意と方針を聞く。</p>		

発言順位	5	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p>1 性的少数者（LGBT）施策の推進について</p> <p>(1) (仮称)あかしインクルーシブ条例の検討における性的少数者（LGBT）に対する認識は。 (要旨)日本におけるLGBTの当事者は、約13人に1人と言われているが、条例の検討におけるLGBTへの対応について、市の認識を聞く。</p> <p>(2) 市民相談窓口の設置を。 (要旨)1人で抱え込むことがないよう、相談窓口が必要である。</p> <p>(3) 市職員、学校関係者、市民等に対して、LGBTの研修会や啓発イベントの実施を。 (要旨)市職員、学校関係者、市民等を対象として当事者に寄り添うための研修会が必要である。また、周知を目的に啓発イベントを実施すべきと考える。</p> <p>(4) パートナーシップ制度導入の検討を。 (要旨)LGBTの当事者の存在を視野に入れた法や政策の検討は避けられないと思われるが、LGBTのカップルを公的に認めるパートナーシップ制度導入の検討を始めてはどうか。</p> <p>2 市内の地場産業に取り組む若者への支援を</p> <p>(1) 市内の地場産業（漁業、農業、商業、工業）の現状と後継者問題について (要旨)生産者人口減少時代における地場産業の現状と後継者の課題について真剣に考えるべきである。</p> <p>(2) 市内の地場産業に取り組む若者や女性への支援を。 (要旨)先進地では、ものづくりコンクールや表彰等で地場産業に取り組む若者や女性の応援支援を行っており、本市でも取り組むべきである。</p> <p>(3) (一財)明石市産業振興財団が保有している財産を活用した若者への支援を。 (要旨) (一財)明石市産業振興財団が保有している財産を活用し、先進地視察や研修、ネットワークづくりなど、有効利用することができないか。</p> <p>3 平成31年度からの胸部検診の見直しについて</p> <p>(1) 胸部個別検診の廃止について (要旨)平成30年度までは、個別検診と集団検診との併用であったが、31年度からは個別検診を廃止して集団検診のみとなる。その経緯について問う。</p>		

発言順位	5	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p>(2) 個別検診を廃止することによる受診率への影響について (要旨) かかりつけ医制度の推進が図られる中、個別検診を廃止することは時代の流れに逆向することにもなり、受診率の低下を招くのではないか。また、低下した場合にはどのような対応をするのか。</p>		

発言順位	6	議員名	中西 礼皇(未来市民)
発 言 事 項	<p>1 市有施設の包括管理業務委託について</p> <p>(1) 包括管理業務委託の課題について (要旨) 即応できているか、市内業者は優先されているか。</p> <p>(2) 暴力団排除の取り組みについて (要旨) 市が契約する場合と同じように暴力団排除の取り組みが必要である。現状を問う。</p> <p>(3) 評価、検証、改善について (要旨) どのように行うか。改善できるか。</p> <p>2 喫煙マナーとルールについて</p> <p>(1) 路上喫煙禁止の取り組みについて (要旨) マナーをルールにする必要がある。考えを問う。</p> <p>(2) 各駅前の喫煙所について (要旨) 場所の変更を求める声が市民から多く寄せられている。認識と対応を問う。</p> <p>3 市役所内のパワーハラスメントについて</p> <p>(1) パワハラ調査と対策について (要旨) 調査結果と対策、実効性を問う。</p> <p>(2) 幹部職員等によるパワハラについて (要旨) 市長等の市幹部職員によるパワハラに対して、監視、防止、被害の申告ができる制度になっているか。</p>		

発言順位	7	議員名	尾仲利治(民主連合)
発言事項	<p>1 防災について</p> <p>(1) 避難所のあるべき環境基準について (要旨) 本市における避難所の環境基準をどのように考えているのか。国際的な環境基準、内閣府ガイドラインと照らし合わせてどうなのか。</p> <p>(2) 災害後の関連死について (要旨) 災害後は関連死や孤独死、自殺などが発生する。災害後の関連死の割合が増加傾向にあると聞くが、阪神淡路大震災に見舞われた本市として、どのように分析しているのか。</p> <p>(3) 在宅被災者について (要旨) 阪神淡路大震災において、本市は甚大な被害を受けた。在宅被災者に対し、どのような対応を取られたのか。また、これからはどのように対応をしていくのか。</p> <p>(4) 仮設住宅について (要旨) 阪神淡路大震災後、仮設住宅が多く建設された。住宅復興には多額の費用が伴うが、本市として、どのような分析をされているのか。</p> <p>(5) 災害復興予算について (要旨) 災害復興のための予算について、本市はどのように考えているのか。</p> <p>2 児童生徒が生き生きと生活できる環境作りについて</p> <p>(1) 教師と児童生徒が接する時間の確保について (要旨) いじめや虐待などをなくすことにもつながると考える。児童生徒に少しでも接していききたいという教師の願いをどのように受け止めているのか。</p> <p>(2) 教育現場の「働き方改革」について (要旨) 働き方改革が言われて久しいが、教育委員会としてどのような対策を講じているのか。</p> <p>3 明石市の今後の幼児教育のあり方について</p> <p>(1) 幼稚園、保育所、認定子ども園、地域型保育事業について (要旨) 待機児童をゼロにすることはいいと思うが、本市の今後の幼児教育を中長期的にどのように考えているのか。</p>		

発言順位	8	議員名	林 健太(真誠会)
発言事項	<p>1 安全なまちづくりについて</p> <p>(1) 国土強靱化地域計画の策定について (要旨) 平成26年に閣議決定された国土強靱化基本計画に倣い、内閣官房が各地方公共団体にも策定ガイドラインを示している国土強靱化地域計画を本市も策定しないのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 非常用電源装置付き信号機について (要旨) 国道2号等の主要幹線道路において、災害等での停電時、断線時でも消えることがない信号機のさらなる普及が必要であると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) 学習指導要領の改訂に伴う授業内容への対応について (要旨) 新しく実施される学習指導要領に対して、どのように対応していくのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 特色ある初等教育について (要旨) 本市が住みたいまち、住み続けたいまちとして選ばれ続けるためにも、特色ある初等教育が必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>3 明石市更生支援及び再犯防止等に関する条例について</p> <p>(1) 明石市更生支援及び再犯防止等に関する条例の周知について (要旨) 本条例については、いかに市民に対して周知するか、内容を誤解なく理解してもらうかが肝心であると考え。本12月議会で可決された場合、その後どのように広報していくのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発 言 事 項	<p>1 国の2018年度補正予算における学校の緊急重点安全確保対策について</p> <p>(1) 補正予算を積極的に活用した小中学校の特別教室へのエアコン設置について (要旨) 11月7日に成立した国の2018年度補正予算に小中学校のエアコン設置費用の補助が盛り込まれ、本市でも本12月議会で補正予算に小学校施設整備事業費が計上されているが、その内容を問う。</p> <p>(2) 公立学校における倒壊の危険性があるブロック塀の安全対策について (要旨) 国の補正予算には、倒壊の危険性があるブロック塀の撤去・改修費用の補助も盛り込まれているが、本市の現状を問う。</p> <p>2 不育症治療への助成について</p> <p>(1) 不育症治療への助成について (要旨) 妊娠はするものの、流産や死産を繰り返す不育症の治療への助成について、本市はどのように取り組んでいるのかを問う。</p> <p>(2) 不育症の相談体制と市民への周知について (要旨) 不育症の相談体制と、市民にはどのように周知されているのかを問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>1 ため池カルテを活用した地域づくりについて</p> <p>(1) 市内全てのため池をデータベース化した「ため池カルテ」の作成について (要旨) ため池の水の経路図や長年にわたって口伝によって受け継がれてきた水管理の手法や風習、集水域や受益農地、治水活用、歴史、文化、景観、自然環境等について、ため池ごとにデータベース化した「ため池カルテ」を作成し、市役所内部における情報共有が必要であると考えているが、市の見解を問う。</p> <p>(2) ため池カルテを活用した地域づくりについて (要旨) 地域や管理者に市が作成した「ため池カルテ」の情報を提供し、ため池の多面的機能の見える化を図るとともに、地域の人や管理者しか知らない情報を書き加えてもらう等の取り組みを通して、ため池を地域の宝として「まもり」「いかす」「つなぐ」ことが、ため池を取り巻くさまざまな課題解決につながると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 子どもたちのための放課後児童クラブのこれからについて</p> <p>(1) 国が示した方針を受けての本市の考え方について (要旨) 厚生労働省は、平成30年11月19日開催の地方分権改革有識者会議において示された閣議決定内容案として、放課後児童クラブの配置基準と資格要件についての「従うべき基準」を「参酌すべき基準」にするとしているが、本市はどのように考えているのか、見解を問う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブのあり方検討プロジェクトチームの進捗状況とこれからの運営体制について (要旨) どのような構成メンバーで、どのような検討がなされているのか。現場の声をどのように聞いているのか。運営体制の見直しも含めた検討が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 専門職の活用と採用について (要旨) 専門職による役割の違いを認識し、ケースごとに必要な専門職を活用できているのか。現在、行っている臨床心理士によるおひさま訪問と作業療法士が行うコンサルティング支援については、依頼する指導員が選択できるようにしてはどうか。また、今後は専門的な知識を持つ指導員の採用も必要ではないかと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>3 自殺予防の取り組みについて</p> <p>(1) 本市の自殺の現状を踏まえた課題について (要旨) 9月議会の文教厚生常任委員会で報告された自殺の現状を踏まえ、課題についてどのように分析しているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 自殺対策計画における課題解決について (要旨) 策定中の自殺対策計画において、現状分析による課題をどう解決するのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) ゲートキーパーの養成について (要旨) 関係者だけでなく、多くの市民をゲートキーパーとして養成するための認定制度をつくる等、社会全体で支えるという機運を高める工夫が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 明石の子どもたちの自殺をゼロにするための取り組みについて (要旨) 2017年に自殺した人の総計は8年連続減少しているが、10代以下の子どもの自殺は増加している。原因として、教員の不適切な指導による「指導死」が新たに問題視され、対策を求める声が高まっている。</p> <p>また、今年2月に明石で開催された、子どもの自殺予防全国キャラバン「自分に生まれて良かった！」in兵庫『しんだらあかん』においては、明石市で学齢期を過ごし、いじめが原因で死ぬことも考えたというパネラーの発言もあった。このような現状に対する認識と、明石の子どもたちを一人も自殺させない具体的な取り組みについて市の見解を問う。</p>		
	<p>4 環境意識を高めるリユース食器の活用について</p> <p>(1) 市の取り組み状況について (要旨) 平成28年12月議会で、衛生管理体制や費用対効果などの課題はあるが、既に取り組んでいる他都市を参考に検討していきたいとの答弁があったが、その後どのような検討がなされたのか。積極的な取り組みを行っている自治体もあるが、本市はどのように取り組んでいくのか、見解を問う。</p> <p>(2) 市制100周年での活用について (要旨) 環境意識を高める機会として、100周年関連の各イベントにおいてリユース食器を活用できないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	辰巳浩司(真誠会)
発言事項	<p>1 将来を見据えた人口減少対策について</p> <p>(1) 今後の人口の見通しについて (要旨) 短期・中期的には人口増加が予想されているが、長期的な人口動向についてはどのように推計しているのか、お聞きしたい。</p> <p>(2) 進学・就職による若者の人口流出への対策について (要旨) まちの将来を見越して、若者が明石で育ち、学び、そして働ける環境を整えるなど、若者の人口流出を防ぐための対策について市の見解をお聞きしたい。</p> <p>2 中学校給食について</p> <p>(1) 給食センターにおける調理について (要旨) 本市の中学校給食は温かくておいしいと聞いているが、給食センターにおける調理について、課題と今後の展望をお聞きしたい。</p> <p>(2) 中学校給食の食材調達について (要旨) 昨年に良好な報告があった食材調達に関して、工夫している点と課題、今後の展望についてお聞きしたい。</p> <p>(3) 中学校給食における食育について (要旨) 食育は非常に大切ですが、現時点における課題と今後の展望についてお聞きしたい。</p>		

発言順位	12	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発 言 事 項	<p>1 市民会館の今後のあり方について</p> <p>(1) 市民会館の修理・修繕に時間がかかっているが、新築、大規模改修等、今後のあり方についてお尋ねしたい。</p> <p>(要旨) 大ホールの舞台機構が壊れて長期間そのままになっている。また、会議室の仕切り壁が固定のまま長期動かさない等、市民会館を利用される市民から心配の声をいただいている。市民会館の今後のあり方についてお尋ねしたい。</p> <p>2 災害時のドローン（無人航空機）の活用について</p> <p>(1) 災害時のドローンの有用性が指摘されている。ドローンの映像を見て被害状況を把握すると、素早く対応することができるため、活用すべきだと思うがどうか。</p> <p>(要旨) 防災ヘリコプターよりも少ない予算で被災状況を把握できるドローンに注目が集まっている。本市の財政規模でも十分導入できるドローンを活用しないか。</p> <p>3 児童の下校時の安全対策について</p> <p>(1) 児童の下校時に防災用スピーカーを使用して、お知らせ放送、音楽等の合図を流し、地域住民に見守り活動を行ってもらわないか。</p> <p>(要旨) 児童の下校時、交差点等の危険箇所にはスクールガードがおられるので安心であるが、自宅近くでは、児童が一人になる場合もあり、危険である。見守り活動で児童の安全を確保したい。特に学童保育からの帰宅時は、非常に危険である。</p> <p>4 消費生活センターの充実について</p> <p>(1) 消費生活センターに暴力団対策に携わった経験のある警察OBを配置しないか。</p> <p>(要旨) 悪質商法・詐欺事件の中には暴力団が関与している場合もあると言われている。消費生活センターに暴力団対策に携わった経験のある警察OBを配置し、しっかり対応できる体制を整備すべきだと考える。</p>		

発言順位	13	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 盲導犬に対する助成について</p> <p>(1) 市内の盲導犬利用の現状について (要旨) 市内の利用者は極めて少ないと聞いているが、利用者数ではなく、そのような制度があるということ自体が大切だと考えるが、現状について聞く。</p> <p>(2) 市としての助成や支援のあり方について (要旨) 障害者配慮条例を制定している本市であるからこそ、費用面での助成に加え、病気や怪我をしている盲導犬の世話をを行うボランティアの派遣など、市独自で何らかの支援ができないか。</p> <p>2 防災・減災対策について</p> <p>(1) 本市のBCPの現状と今後について (要旨) 事業継続計画すなわちBCPについて、策定当初と比べて現在までにどのような変化があったのか。</p> <p>(2) 災害時、公用車を可能な限り市民が活用できる車種にしないか。 (要旨) 札幌市では、公用車として利用しているFCV（燃料電池自動車）と発電機を併用し、地震当日と翌日の2日間で約2,000人がスマートフォンの充電などを行ったと聞いている。</p> <p>(3) 災害時協力登録車制度を推進しないか。 (要旨) 東京都の練馬区では、住民参加の新たな取り組みとして、EV（電気自動車）やPHV（プラグインハイブリッド自動車）を所有している区民に、「災害時協力登録車」として登録してもらう制度を6月からスタートさせている。本市でも導入できないか。</p> <p>(4) 防災士育成の現状と今後について (要旨) 平成29年3月議会で、先進的な取り組みをしている明石工業高等専門学校と連携して市民向け防災士講座を開講しないかと提案をしたが、その後について聞く。</p> <p>3 市制施行100周年記念事業シンボルマークについて</p> <p>(1) 市制施行100周年記念のシンボルマークの今後の展開について (要旨) 平成29年9月議会において同様の提案をさせていただいたが、このたび、小学生の投票により、応募作品のうちの5つの優秀作品から最優秀作品を決定する作業に入っていると聞いているが、今後の展開は。</p>		

発言順位	14	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>1 コミュニティ・スクールについて</p> <p>(1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とはどのようなものなのか。 (要旨) 実施する目的は。学校評議員制度との違いは。モデル校ではどのようなことが行われたのか。</p> <p>(2) 教職員の負担がふえないか。 (要旨) 学校を拠点として実施するため、家庭・地域との連絡体制や行事の準備等、教職員の負担がふえるのではないか。また、児童生徒はどのような形で参加するのか。</p> <p>(3) 学校間格差が生まれえないか。 (要旨) 地域によっては協力者の確保が難しいところもあると思うが、それによって学校間格差が生まれえないか。</p> <p>(4) 教職員の任用への関与について。 (要旨) 学校運営協議会は、教職員の任用について教育委員会に意見を述べるができることとあるが、どのようなことか。教育委員会規則にはどのように定められているのか。</p> <p>2 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 夏休み限りの受け入れについて (要旨) 今年初めて、試行的に夏休み限りの受け入れを行ったが、結果はどうであったのか。また、来年度の予定は。冬休みや春休みの受け入れは考えているのか。</p> <p>(2) 待機児童について (要旨) 「子ども・子育て支援事業計画中間見直し」では、今後の利用者数を推計して総数をふやして計画を見直している。来年度以降の待機児童の見通しはどうか。</p> <p>(3) 主任制度について (要旨) 主任制度が始まって2年目であるが、現状はどうか。どのような基準で選んでいるのか。豊かな経験と知識が必要だと考えるが、研修などは十分に行われているのか。</p> <p>(4) 指導員不足について (要旨) 処遇改善が必要と考える。フルタイムで勤務している主任の給与は、結婚して子育てが可能な金額になっているのか。また、昇給はあるのか。</p>		

発言順位	14	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発 言 事 項	<p>3 保育所待機児童について</p> <p>(1) 隠れ待機児童について (要旨) 隠れ待機児童とは、どのようなものか。隠れ待機児童を含めると、本市待機児童数の順位は全国、県内でどのようなになるのか。</p> <p>(2) 本市の児童が他市の保育所に入所する場合について (要旨) 近隣市では、来年度より市外からの入所申し込みにおいては、入所決定に当たり基準となる調整点数の減点幅を拡大するとの方針を公表しているが、このことによる本市への影響は。</p> <p>4 生活保護基準引き下げによる就学援助への影響について</p> <p>(1) 2013年度に行われた生活保護基準の引き下げによる本市の就学援助への影響はどうだったのか。また、本年10月からの引き下げの影響は。 (要旨) 2013年度の生活保護基準引き下げは3年かけて行われた。東播地域では、それ以降も就学援助所得基準は下げない市や、反対に増額している市もあるが、本市の考えを聞く。</p> <p>(2) 生活水準の低下を招かないために市はどのような対策を行うのか。 (要旨) 国は、「生活保護基準の見直しにより生活水準の低下を招かないよう地方自治体に適切にご判断・ご対応いただきますようお願い申し上げます」と言っているが、本市は具体的にどのような対策を行うのか。</p>		

発言順位	15	議員名	家根谷 敦子 (スマイル会)
発言事項	<p>1 こども食堂について</p> <p>(1) こども食堂のあり方について (要旨) 平成29年度から本格的に始まったこども食堂について、現状と、今後の対象者の範囲拡大や運営方法について、本市の考え方をお尋ねしたい。</p> <p>2 生涯学習センター分室の活動について</p> <p>(1) 生涯学習センター分室のサークルの活動場所の確保について (要旨) 現在、市内の多くの団体が活動を行っているが、分室廃止後の活動場所の確保についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	16	議員名	遠藤 恒司 (自由民主党)
発言事項	<p>1 泉市長の実績の評価と今後の取り組みについて</p> <p>(1) 第5次長期総合計画等に係る取り組み</p> <p>① 都市基盤整備の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の進捗 ・公共施設の老朽化に対する取り組み ・下水道事業のネットワーク化の取り組み ・安全安心のまちづくりにおける自転車道の整備 ・JR新駅設置に向けた取り組み <p>② まちの活性化、にぎわいづくりの取り組みについて</p> <p>③ 資産の活用について</p> <p>④ 指定管理者制度の運用状況について</p> <p>⑤ 待機児童解消対策の副作用について</p> <p>以上について、どのように評価し、今後どのように取り組むのか。</p> <p>(要旨) 市長の任期満了が近づいてきたが、泉市政の施策並びに運営について、将来性、継続性、公明性等は、30万市民が期待した形になっているか。各世代に公平に施策が展開されてきたか。</p> <p>現在は人口が増加しているが、将来的に減少は避けられず、現状は特異に感じる。国の人口が減少すると、国民所得も減少し、市政の財源の確保が危うくなるため、将来を見てかじを切る準備が必要となってくる。</p> <p>また一方で、市政の運営面では職員が一体となって運営されているか。よく不協和音を聞き、問題に感じる。市のトップである市長の視点が偏っているようにも感じるが、所見を聞く。</p>		

発言順位	17	議員名	北川 貴 則 (無 所 属)
発 言 事 項	<p>1 人口増と減税について</p> <p>(1) 人口増の還元として減税することはできないのでしょうか。 (要旨) 本市は人口増の好循環期です。人口増は、固定資産税など税収の増加をもたらし、財政を豊かにし、行政サービスの向上にもつながります。こうした時だからこそ恩恵を肌で感じられるよう、減税はできないのでしょうか。今後、国において、住宅ローン控除の延長や未婚のひとり親への所得控除拡充などが実施される見込みです。本市の見解をお聞かせください。</p> <p>2 福祉の充実について</p> <p>(1) 保育所の待機児童はいつになったら解消できるのでしょうか。 (要旨) 本市の保育所は、いつになったら待機児童ゼロになるのでしょうか、お聞かせください。</p> <p>(2) 一人暮らし高齢者が豊かに安心して暮らせる仕組みづくりは万全でしょうか。 (要旨) 人口減少社会の今日、少子化、高齢化や核家族化などとともに、一人暮らしの高齢者は増加傾向にあります。一昔前に比べ、地域における近所付き合いなどが希薄になったと感じます。孤独死の数も増加傾向にあるそうですが、今後、本市ではどのように対処していくのでしょうか。現状と課題もお聞かせください。</p> <p>3 学校園の給食無料化について</p> <p>(1) 学校園の給食無料化はできないのでしょうか。 (要旨) お金を気にせず子どもたちが笑顔で給食を食べることができる日が訪れることを願います。近年、国による子ども手当など、未来を担う子どもたちへの支援施策が展開されていますが、今後の本市での取り組みをお聞かせください。</p> <p>4 天文科学館の年始開館について</p> <p>(1) 年始開館はどのように行われるのでしょうか。 (要旨) 年始開館もすっかり定着しましたが、時のまちのシンボルである天文科学館のこれまでの正月開館の成果はいかがでしょう。また、今後はどのように行われるのでしょうか。時のまちとして本市の取り組み状況をお聞かせください。</p>		

発言順位	17	議員名	北川 貴則(無所属)
発言事項	<p>5 2019成人式について</p> <p>(1) 運営内容について</p> <p>(要旨) 2019年の運営内容はどのようになっているのでしょうか。また、新成人から企画・運営上の新たな要望等はあるのでしょうか、お聞かせください。</p>		

発言順位	18	議員名	辻本達也(日本共産党)
発 言 事 項	<p>1 JT跡地に係る懸案事項について</p> <p>(1) 周辺道路の交通量増加と安全対策について (要旨) 開発による車両の通行量増加について、市の認識を問う。広範囲にわたり影響があると考え。特に、大久保16号線、同86号線及び同56号線については、十分な幅員が確保されない中で通行車両が増加することにより、自転車や歩行者の通行が大変危険になる。対策を検討すべきと考える。</p> <p>(2) ペDESTリアンデッキの利用者数増加について (要旨) 歩行者の通行量がふえることを懸念する声がある。市の認識を問う。</p> <p>(3) 小・中学校の児童生徒数の増加について (要旨) 市の見解を問う。</p> <p>(4) JR大久保駅の安全対策と環境整備について (要旨) 乗降客数が確実にふえると予想される。具体的な対策が必要と考える。</p> <p>(5) 売却差益の活用について (要旨) 約30億円の売却差益については、地域の安全対策等に活用すべきと考える。</p> <p>2 斎場の諸問題と今後の不祥事対策について</p> <p>(1) 9月議会以降に発覚した法令違反に係る責任の所在について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 斎場の諸問題など、この間発覚した不祥事を踏まえた今後の対策について (要旨) 調査・検討状況を問う。</p> <p>(3) リスクマネジメントについて (要旨) 認識を問う。</p> <p>3 県道380号線の安全対策について</p> <p>(1) 踏切の安全対策について (要旨) 朝夕のラッシュ時は、踏切を通過する車両と歩行者等が集中し大変危険である。早急に対策を講じるべきと考える。</p> <p>(2) 拡幅など安全対策の必要性について (要旨) 県道ではあるが、市も積極的に対策を講じるべきと考える。</p> <p>4 都市計画道路の整備と周辺への影響について</p> <p>(1) 江井ヶ島松陰新田線の整備について (要旨) 進捗状況について問う。</p>		

発言順位	18	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 山手環状線大窪工区の必要性と実現性について (要旨) 現在施工中の西工区が完成すれば、続いて大窪工区に着手するものと市民は理解している。見解を問う。</p> <p>(3) 大久保北部の通り抜け対策について (要旨) 9月議会以降の取り組み状況について問う。</p> <p>(4) 山手環状線西工区供用開始後の周辺地域への影響について (要旨) 西工区供用開始後は、神戸市西区方面へ抜けようとする車両が江井ヶ島松陰新田線に流れることが予想される。信号機が設置されていない交差点があるなど、危険箇所が幾つかある。早急に対策を講じるべきと考える。</p> <p>(5) 西脇皿池の里道拡幅による通過車両の増加について (要旨) 西脇皿池の里道拡幅により、山手台への通り抜け車両の増加を懸念する声がある。供用開始前に対策を講じるべきと考える。</p>		
	<p>5 公職選挙法に基づく寄附の禁止について</p> <p>(1) 新聞報道により明らかになった件について (要旨) 公職選挙法第199条の2から第199条の5に規定されている寄附行為について、見解を問う。</p> <p>(2) 協賛金について (要旨) テレビ番組の放映に係る協賛金について、見解を問う。</p> <p>(3) 特定人に対する寄附の勧誘、要求等の禁止について (要旨) 公職選挙法第200条について、見解を問う。</p>		